

会 議 録

会議の名称	第1回行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成27年3月18日（水） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時
開催場所	市役所305会議室
出席者氏名	尾澤照男委員、山崎孝子委員、羽鳥英樹委員、野本祐子委員、 島田ユミ子委員、小川雅以委員、山本栄治委員、吉田岳雄委員、 小菅克祥委員、宮本伸子委員、立花正人委員、 篠田幸一委員（代理：鈴木氏）、中島和幸委員、井澤清典委員
欠席者氏名	戸塚昌利委員、小池利昌委員、櫛引浩士委員、伊東政信委員、 土橋義男委員
事務局	企画政策課：岩田企画政策課長、浅見政策推進幹、大木主査 商工観光課：吉田商工観光課長、諸貫企業誘致推進幹 農政課：柴崎次長 学校教育課：今成主幹
会議内容	（1）「地方創生」に係る国及び行田市の取組の概要について （2）行田市における人口動態の概要について （3）今後のスケジュール等について
会議資料	○会議次第 ○行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱 ○委員名簿 ○地方創生に係る国及び行田市の取組について【資料1】 ○地方版人口ビジョン・総合戦略のイメージ【資料2】 ○行田市の人口動態について【資料3】 ○行田市における推進体制等【資料4】 ○まち・ひと・しごと創生関連予算【参考資料1】
その他必要事項	傍聴者 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 自己紹介</p> <p>（委員順番に各自自己紹介。その後、事務局紹介。）</p> <p>5 議事</p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・早速、議事に入らせていただく。ここからは、「行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱」第3条第2項及び第3項の規定に基づき、本来は土橋副市長に座長として進めるところであるが、本日は欠席のため、同要綱第3条第4項の規定に基づき、予め座長から指名された井澤委員を代理として議事の進行をお願いする。
井澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、代理として座長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆様のご協力をお願いする。 ・まず、会議の公開、非公開の取扱いについては、本創生有識者会議の議事の中で個人情報を取扱う予定がないことから、原則公開とする。また会議録については、委員名を明記のうえ、要点筆記とし、市政情報コーナー及び行田市のホームページにおいて公開する。 ・それでは、議事の(1)「地方創生に係る国及び行田市の取組の概要について」、及び議事の(2)「行田市における人口動態等の概要について」、一括して事務局の説明を求める。
事 務 局	<p>（資料1「地方創生に係る国及び行田市の取組について」、資料2「地方版人口ビジョン・総合戦略のイメージ」及び資料3「行田市の人口動態について」により説明）</p>
井澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、内容についての意見や質問があれば発言いただきたい。
尾澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの中に目標人口が掲載されているが、今回策定される本市の人口ビジョンの推計値はマスタープランと整合されるものなのか。それとも別途調査し、推計するものなのか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランは20年後の目標人口を示しているが、今回本市が策定する人口ビジョンは、国のビジョンと同様に2060

<p>小川委員</p>	<p>年までの人口推計の分析や将来展望を提示する予定である。総合振興計画や都市マスタープランの指標人口を踏まえつつ、より長期的な展望を持って人口推計を行ってまいりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2の2ページ「行田市の総合的な人口減少対策の取組」について、平成22年度の国勢調査の結果により、人口減少数・率が県内40市中ワースト2位とあるが、年間でどのくらい減少しているのか、具体的な数値を示して欲しい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年から22年の5年間の人口減少数は、約3千人、率にして3.4%である。本市の人口数のピークは平成18年1月に南河原と合併した直後の88,786人である。
<p>小川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 合併当時の旧南河原村の人口はどのくらいか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約4,200人である。
<p>宮本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の地方創生は、人口減少に歯止めをかけるという命題があるが、資料3の2ページの下段を見ると、行田市の人口の自然減、社会減が以前から始まっており、直近の5年間を見ると自然減は増大している一方、社会減の減少幅は縮小している傾向にある。今後は本市の人口を維持、回復を図るにあたって、人口の推移で示された現象をどのように捉え、それをどのように施策に展開していくかを考えなくてはならないと思う。 資料1の2ページの下段及び5ページ以降に、これまで本市が先駆けて行ってきた人口減少対策に向けた施策が記載されているが、これまでどのような効果が挙げられているのか。全ての項目に対して数値化した結果を示すのは難しいと思うが、事業の効果を公表し、その検証や新たな施策を展開していくなど、この会議の中で議論できればよいと考える。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、本市では国の地方創生の動きに先駆けて、平成25年12月に「行田市定住促進基本計画」を策定し、人口減少対策に向けたさまざまな施策に取り組んでいる。その結果について資料1の10ページに主な取組結果を記載している。 一例を申し上げますと、2行目の「子育て世帯定住促進事業」については、昨年度において70世帯、239人が本市に定住化したことにより、税収増などの効果を及ぼしている。また、奨励金の一部を

市内の商店等で利用できる商品券で交付することにより、地域経済の活性化にも資している。

- ・また4行目の「企業立地促進事業」については、昨年6事業所の新増設があり、新たな雇用者307名のうち、市民の雇用は81名となり、企業立地と市民雇用の促進が図られている。

- ・また、人口動態の面についてひとつの特徴が見られたので紹介する。資料3の3ページに平成25年における年齢階級別の移動数が記載されているが、その中で「0歳～4歳」の未就学児の転入者と転出者を比較すると、転入者が約80人上まわっている。未就学児の増加が見られるということは、その家族も一緒に転入し増加していることが考えられる。

これは昨年度から開始した子育て世帯定住促進事業の成果であると推測できる。

- ・また国では、「地域経済分析システム」を整備し、地方自治体への情報支援を行う予定である。本市においてもこのシステムを利用し、本市の人口動態や経済状況等についての特徴等の調査分析を行い、これまでの施策の検証結果と併せて委員の皆様にお示ししてまいりたい。それらをもとに、委員の皆様からいただいたご意見等を踏まえたうえで、今後5年間の骨のある行田市版総合戦略を策定していきたい。

島田委員

- ・先ほどの事務局の成果の説明の中で「きっずプラザあおい」を取り挙げていたが、本施設も来月で1周年となる。その中で一番印象に残ったことは、来場する男性の数が増加していることである。昔に比べ1世帯あたりの子どもが少なく、それだけ子ども一人ひとりに対する家族の新たな価値観が生まれてきたと考えられる。

- ・次回の会議では、「きっずプラザあおい」に来場した人数等の資料を皆さんに配布したい。

- ・今後とも「きっずプラザあおい」をはじめ皆さんに子育て施設に関心を持っていただき、「子育てをするなら行田で」というイメージを作り上げられるよう、子育て支援の活動を行っていきたい。

井澤座長

- ・他に何か意見はあるか。続いて議事の(3)今後のスケジュール等について、事務局から説明をお願いする。

<p>事務局 井澤委員</p> <p>司 会</p>	<p>(資料4「行田市における推進体制等」により説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったとおり、5月下旬を目途に2回目の会議を行う予定である。その際には委員の皆様から、今携わっている仕事や活動のご紹介や、本市における「まち・ひと・しごと創生」に関するご提案を数多くいただければと考えている。 ・以上をもって本日の議事を終了とし、これをもって座長の職を解かせていただく。 ・次回有識者会議については、後日、日程調整をさせていただき、改めて通知をする。以上をもって、第1回行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会する。 <p style="text-align: center;"><閉会></p>
--------------------------------	---